

## 総合計画審議会からの主な意見

### 【現計画の期間延長について】

- 2年間の延長はやむを得ない。その間に次期計画をしっかりと検討してほしい。
- 延長せざるを得ない状況だが、本来であればもっと早く諮問すべきである。次期計画を策定する2年間も市政の充実に取り組み、次期計画に繋げてほしい。

### 【現計画の成果指標について】

- 達成が困難な成果指標については、目標値を下げてもいいのではないかな。
- 達成できそうな目標値にするのではなく、高い目標のまま据え置くのは良い判断だと思う。

### 【次期計画の策定プロセス等について】

- 10年前には無かったテクノロジーを活用するなど、工夫しながら策定してほしい。
- 自宅や病室などからでもオンラインで参加できるような新しい取組みを検討してほしい。
- 計画策定の基礎となる調査をしっかりと行う必要がある。
- 市民がどういう状態を求めているのか、何に幸福を感じるのかを把握することが重要。
- 計画策定時だけでなく、実行段階でも市民の意見を聞く仕組みを検討してほしい。
- 計画を実行するにあたっては、職員が元気であり続けられるような体制づくりも重要。

### 【次期計画の内容について】

- 感染症、気候問題、ジェンダー、DX、Well-being など、現計画の策定後に生じた新たな課題や価値観をしっかりと反映する必要がある。
- 成果指標は、量から質に転換していくといいのではないかな。
- 成果指標の目標値は、根拠や裏付けをもって設定していくべきである。
- 「働き続けているか」のように継続性が見える成果指標も考えてほしい。
- 市民の幸福度を可視化し、青少年が住み続けたいと思える施策を推進してほしい。
- 様々な制度が対象者にしっかりと認知されるよう、効果的な情報発信を検討してほしい。
- 地域防災や通学路の安全対策など、しっかりと取り組んでほしい。
- スタートアップ支援は、国などの関係機関と連携して、より大きな視点で取り組んでほしい。
- 高度人材の集積や新産業のキャッチアップにもしっかりと取り組んでほしい。